

# 1 部

学習サポート

## 各種申込締切について

- 『試験・スクーリング情報ブック2017』にてご確認ください。
  - ・ p. 4～5→学年暦　・ p. 14～17→通信教育部カレンダー
  - ・ p. 38～41→社会福祉士　演習・実習科目関連締切等
  - ・ p. 42～44→精神保健福祉士　演習・実習科目関連締切等

## 8 / 7～9 / 24 の追加・変更点

- 事務室休業日  
8 / 14・15（窓口・電話・メール、いずれも対応できません）
- 社会福祉士・精神保健福祉士「国家試験受験対策講義」（第3回）  
9 / 23・24に開講。今年度受験予定者向け（p. 76参照）。

---

### 大雨被害により被災された皆様へ

---

7月の大雨被害により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。  
災害救助法が適用される地域にお住まいで、教材・副教材に損傷を受けられた方には無料再交付をいたします。その他、被災により配慮を希望される場合は通信教育部へご相談ください。

---

# 将来、私たち(精神保健福祉士)の 仲間になる皆さんへ

教員 MESSAGE

教授・精神保健福祉士・SSW 阿部 正孝

実習が近づいてくると、若干、強迫的に何故実習に行くのか(目的と意義)とか、実習って何だろうとか、教員や実習指導者から質問されることを想定して考え込んでしまう方も多いのではないのでしょうか? 専門的技術を身につけたい、機関・施設や利用者を理解するなどの目的がそれにあたるのでしょうか? しかし、これ(実習)を機に、自分の意志を持つ人間になる、自分を変えてみたいと考えた方は素適な実習になると思います。

精神保健福祉士の現場実習は、精神科病院の実習であれ、障害福祉サービス事業所の実習であれ、内容は多彩になっております。また、その動きは入院手続きをやっているかと思えば退院援助のことをやり、病棟にいるかと思えば、利用者の家庭訪問をしたり、時に利用者との話しあいやゲームに興じているかと思えば、1対1で相談業務の場面にいたり、保健・福祉関係者と協議をしているなど目まぐるしいものです。実習内容も他職種が先輩から業務の一つ一つを丁寧に教えられ「見てわかりやすい」実習であるのに対し、精神保健福祉士の実習は利用者と関わる場面を提供され、関わりを持ってから「何を感じましたか? あなたはどう思うの?」と言う実習指導者からの問いから始まり、ともに時間を過ごしたり話しをしていることばかりと、内容は「何をやっているのか分かりづらい」と他から評されることもあります。

確かに、何を感じたか?の質問は他職種でもありますが、精神保健福祉士の実習ではなお多い感じがいたします。このことは、小田敏雄<sup>1)</sup>は精神保健福祉士が「やりとり」を重視している表れであるとし、「やりとり」

を重視する根拠について柏木昭<sup>2)</sup>は「上に立って指導・教示するという  
ことではなく、自分自身の考え方や気持ちを率直に相手に伝え、協議する姿  
勢が必須」としている。さらに、佐々木敏明<sup>3)</sup>はソーシャルワーカーの専  
門性はクライアントとの協働の中にあり、「やりとり」という協働作業か  
ら当事者のニーズの発見や具体的な支援が展開されていくのであると言っ  
ております。

実習では、専門職として働く職員と出会い、実際に現場で専門性につい  
て考えることになると思います。専門職の構成要素については教科書に書  
かれていたことでしょう。

知識・技術・価値と倫理とありますが、専門職としての「知識」、知識  
を実践で行われる「技術」、それを支える「価値と倫理」のことです。実  
習はそれらを会得することを目指しますが、同時に次の二点も求められま  
す。

一点目は「主体性」です。大きくは自分がなぜ精神保健福祉士になるう  
としているのか、小さくは実習中に何を探せばよいのか、何を調べれば良  
いのかを主体的に取り組んでいただきたいと思います。

二点目はふさわしい専門職になるための「戦略」を発見してくれること  
を期待します。その人がその人らしく生活を送ることを援助するために、  
実習を通して自分が専門的に学習し身につけたものを戦略（武器）として  
ご自身の精神保健福祉士像に向かってほしいです。専門職の構成要素に  
「主体性」と「戦略」を併せ持つことが「皆さんの専門性」につながります。

実習を終えた時、新たな始まりを迎えます。

援助職者としての道を歩むことを決める方、また違う道を歩もうと決め  
る方（実習生を送る側として、ぜひとも精神保健福祉の業務についていた  
だきたいですが…）、どのような選択をしても実習では指導者や利用者と

の出会いがあります。『出会いは感動を呼び、感動は人を動かす』（確か、ロサンゼルスで社会派牧師として活躍した秋吉氏の言葉）と言われ、「出会いは大切」という気持ちを持ってくだされば実習の意義は深いと思います。

山元克彦<sup>(4)</sup>は(実習前のあなた) - (実習後のあなた) = あなたの変化。この変化はあなたの学びであり、成長だと言えるでしょうと実習の意義を訴えています。

実習現場を提供していただくとは、そのような自らの変化が出来る所という意味もあるのではないのでしょうか？ きっと、「あれから私はこれだけ成長しました」と言える時が来ると信じています。そこで、利用者の「想い」を受け止め、利用者の「願い」を聞き、そこから役割や意義を考える機会を与えられ「どのような専門職になりたいか」という目標を持ち続けてください。期待しております。

#### 引用文献

- (1) 荒田寛・小田敏雄・田村綾子・川口真知子・相川章子 PSW実習ハンドブック、へるす出版、2013、p. 25
- (2) 柏木昭、荒田寛、佐々木敏明編 これからの精神保健福祉—精神保健福祉ガイドブック（第4版）、へるす出版、2009、p. 41
- (3) 前掲、p. 23
- (4) 対人援助実践研究会 対人援助実習サポートブック、久美、2003、p. 151

## スクーリング・アンケートより(1)

アンケートより、スクーリング講義の感想を抜粋しました。

### ●公的扶助論 下村 幸仁

- ・生活保護は困窮している人に、ただ生活費を給付するだけでなく、その先の生活を作り直し自立に繋げていくことが重要であることが理解できた。
- ・日本の貧困は社会構造によって作られたものなので、その社会構造を変えていかなければいけないと感じた。

### ●福祉法学 菅原 好秀

- ・難しい法律について、身近な事例に当てはめて分かりやすく解説していたでき、よく理解できました。私たちの生活に密接に関わっている法律をこれから意識していきたいです。
- ・成年後見制度について興味深く聞かせていただきました。楽しく分かりやすく講義していただいたのでホッとしました。

### ●福祉行財政と福祉計画(福祉計画法) 佐藤 英仁

- ・自分のいる自治体でどんなことが行われているのかしっかりと勉強しようと思いました。
- ・スクーリング前はとても難しそうな分野だと思い、理解できるか心配しながら参加しました。分かりやすく資料がまとめられてあり、先生の説明も丁寧で理解しやすかったです。安心しました。

### ●医学一般 城戸 裕子

- ・医療現場での話が聞け、より具体的に理解することができました。
- ・私たちの働く現場には疾患を持つ人が存在する訳で、医学の基礎的知識を持つことがとても重要であることを学んだ。また、データを読み解きそこから時代背景も踏まえ考えていくという作業も大切であると感じました。

### ●特講・社会福祉学Ⅰ(介護保険と社会福祉士の課題) 佐々木 裕彦

- ・介護保険制度そのものより、ソーシャルワークの哲学について考える絶好の機会であった。先生の経験に裏打ちされたソーシャルワークの真髄、特に理論を実践に活かすことは、「自身の実践がどの理論に合致するか、自分の言葉で説明できること」という言葉に心を強く打たれました。
- ・介護福祉士として働いていたが、講義を受けて介護福祉士としての役割を担っていないように感じた。これからはもっと勉強して根拠に基づいた実践をしていきたい。